

研究区分	教員特別研究推進（地域振興）
------	----------------

研究テーマ	食・環境・健康の研究推進と情報発信による地域貢献				
研究組織	代 表 者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所 食品環境研究センター ・センター長	氏名	若林 敬二
	研究協力者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所 ・教授	氏名	三浦 進司
		所属・職名	食品栄養環境科学研究所 ・教授	氏名	雨谷 敬史
		所属・職名	食品栄養環境科学研究所 ・教授	氏名	市川 陽子
	発 表 者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所 食品環境研究センター ・センター長	氏名	若林 敬二

講演題目
食・環境・健康の研究推進と情報発信による地域貢献
研究の目的、成果及び今後の展望
【目的】食品環境研究センターは、地域における健康と福祉の向上、および地域産業の推進を目指して、「食と健康」や「環境と健康」に関連した研究とともに地域の人達への教育・啓発活動などを行っている。 【成果】令和7年度に実施した主要な事業及び成果を以下に示す。 ■ 研究活動 1. 地域における健康に資する食品および環境に関する情報提供、及び教育、啓発活動 静岡県特産の農水産物、加工食品等の機能性についてシステマティックレビューを行い、それらの成果を整理して消費者庁に届出を行い、地域の食品産業の活性化に寄与した。尚、茶カテキン、DHA・EPA、GABA、イヌリン、スルフォラファングルコシノレート、ルテイン、プラズマローゲン及びエルゴチオネイン等を含む60数件の機能性表示食品について既に消費者庁のHPに公開されている。更に、これら機能性表示食品の資料は、健康食イノベーション推進事業の支援のもとで作成した機能性食品素材データベースにまとめられ、本学が中心となり研究を進めている、その他の食品の機能性素材情報と共に本学健康食イノベーション推進事業HP上に公開されている。又、公開講座、講演会等を行い、地域における健康福祉の向上に資する教育・啓発活動を実施した。 2. 2025年度 発表論文2報、学会発表7回 ■ 公開講座・講演会 ・若林敬二：「がん検診による早期発見の必要性」、伊東市・静岡県対がん協会、がん予防講演会（伊東市）、2025年9月23日 ・若林敬二：「静岡県の機能性表示食品の開発支援とその実績」、第26回フードサイエンスフォーラム（焼津市）、2025年9月11日 ・若林敬二：「機能性表示食品のシステマティックレビュー（SR）について」、公益財団法人静岡県産業振興財団、令和7年度未来型食品創出教育プログラム（総合食品学講座）（静岡市）、2025年7月31日 ■ 教育・啓発活動 各研究室又はグループが中心になり行った活動 ・夏休み親子環境教室2025、雨谷敬史、静岡県立大学、2025年8月9日 【今後の展望】センターの事業は、地域における健康と福祉の向上、および地域産業の推進に一定の貢献をしたものと考えられる。本県の農林水産物は極めて豊富であり、数・量ともに食材の宝庫、いわゆる「食材の王国」である。これらの食材には健康長寿への貢献が期待され、産業の進展および地域における健康福祉の向上の両観点から、更なる研究の推進と知識の普及が求められている。